

# 熊本県感染症情報 (第11週:3/10~3/16)

**子宮頸がん予防のためのHPVワクチンのキャッチアップ接種（無料）は、令和7年3月末までに接種を開始しましょう**

- 平成9年度～平成19年度生まれの女性で、HPVワクチンの接種を逃した方を対象に、「キャッチアップ接種」として、改めて無料（公費）で接種できる機会が提供されています。
- キャッチアップ接種は、令和7年3月で終了予定でしたが、令和7年3月末までに接種を開始した方は全3回の接種を無料（公費）で完了できるようになりました。
- 接種を希望される方は、令和7年3月末までに接種を開始することを御検討ください。詳しくは、6ページ又は熊本県ホームページを御覧ください。

参考：熊本県ホームページ

「【HPVキャッチアップ接種】令和7年3月末までに1回以上接種した方は、4月以降も公費で接種できます」  
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/191652.html>



## 百日咳に注意しましょう

- 今週（第11週）の報告数は12件で、今年累計で52件となりました。
- 百日咳は普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増え、程度が激しくなります。
- 飛沫・接触により感染しますので、手洗い・うがいやマスクの着用等の基本的な感染対策を心がけ、感染を予防しましょう。また、咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

## 1 定点把握対象疾患

県内154定点医療機関からの報告数：3/10~3/16

定点	No.	疾患名	今週	前週
インフルエンザ /COVID-19	80	1 インフルエンザ	129	127
		2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	349	360
小児科	50	3 R Sウイルス感染症	127	114
		4 咽頭結膜熱	10	14
		5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	121	111
		6 感染性胃腸炎	851	889
		7 水痘	8	7
		8 手足口病	6	6
		9 伝染性紅斑 (りんご病)	18	22
		10 突発性発しん	29	27

定点	No.	疾患名	今週	前週
小児科	50	11 ヘルパンギーナ	3	2
		12 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0	0
眼科	9	13 急性出血性結膜炎	1	0
		14 流行性角結膜炎 (はやり目)	1	10
基幹	15	15 細菌性髄膜炎	0	0
		16 無菌性髄膜炎	0	0
		17 マイコプラズマ肺炎	4	4
		18 クラミジア肺炎	0	0
		19 感染性胃腸炎 (ロウイルス)	0	2

定点の右欄は、定点医療機関数。

## 【報告数の多い疾患】

地区別：定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

疾患名	今週	前週	地区別			年齢別		
			1	2	3			
感染性胃腸炎	851件	889件	菊池	宇城	御船	6歳	96件	11.3%
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	349件	360件	阿蘇	天草	有明	80歳以上	57件	16.3%
インフルエンザ	129件	127件	山鹿	天草	阿蘇	10-14歳	33件	25.6%

【定点把握対象疾患の推移(過去7週)】

報告期間	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第8週	第9週	第10週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	1/20~ 1/26	1/27~ 2/2	2/3~ 2/9	2/10~ 2/16	2/17~ 2/23	2/24~ 3/2	3/3~ 3/9	3/10~ 3/16	2/17~ 2/23	2/24~ 3/2	3/3~ 3/9
インフルエンザ	970	428	283	151	93	115	127	129	10,866	9,302	9,941
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	12.28	5.35	3.54	1.89	1.16	1.44	1.59	1.61	2.21	1.89	2.02
R Sウイルス感染症	461	423	453	438	462	456	360	349	24,343	21,790	20,041
咽頭結膜熱	5.84	5.29	5.66	5.48	5.78	5.70	4.50	4.36	4.95	4.42	4.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	31	39	68	77	103	114	127	3,775	3,984	4,391
感染性胃腸炎	0.31	0.62	0.78	1.36	1.54	2.06	2.28	2.54	1.21	1.27	1.41
水痘	13	14	9	6	9	6	14	10	909	774	904
手足口病	0.27	0.28	0.18	0.12	0.18	0.12	0.28	0.20	0.29	0.25	0.29
伝染性紅斑	142	171	166	130	132	114	111	121	7,616	6,097	7,291
ヘルパンギーナ	2.90	3.42	3.32	2.60	2.64	2.28	2.22	2.42	2.44	1.95	2.33
流行性耳下腺炎	424	578	651	736	953	853	889	851	32,220	30,748	35,553
急性出血性結膜炎	8.65	11.56	13.02	14.72	19.06	17.06	17.78	17.02	10.32	9.83	11.38
細菌性髄膜炎	9	4	21	15	5	8	7	8	833	784	833
無菌性髄膜炎	0.18	0.08	0.42	0.30	0.10	0.16	0.14	0.16	0.27	0.25	0.27
マイコプラズマ肺炎	10	5	3	9	10	9	6	6	174	157	156
クラミジア肺炎	0.20	0.10	0.06	0.18	0.20	0.18	0.12	0.12	0.06	0.05	0.05
突発性発しん	10	9	7	10	14	18	22	18	1,744	1,777	1,793
ヘルパンギーナ	0.20	0.18	0.14	0.20	0.28	0.36	0.44	0.36	0.56	0.57	0.57
流行性耳下腺炎	14	25	30	20	24	21	27	29	623	565	628
急性出血性結膜炎	0.29	0.50	0.60	0.40	0.48	0.42	0.54	0.58	0.20	0.18	0.20
流行性角結膜炎	1	3	1	0	3	1	2	3	17	28	38
細菌性髄膜炎	0.02	0.06	0.02	0.00	0.06	0.02	0.04	0.06	0.01	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	2	1	0	2	0	2	0	0	100	112	120
マイコプラズマ肺炎	0.04	0.02	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.00	0.03	0.04	0.04
クラミジア肺炎	1	0	1	0	0	0	0	1	20	28	29
突発性発しん	0.11	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	0.03	0.04	0.04
ヘルパンギーナ	8	7	12	14	6	11	10	1	565	509	576
流行性耳下腺炎	0.89	0.78	1.33	1.56	0.67	1.22	1.11	0.11	0.82	0.73	0.83
急性出血性結膜炎	0	1	0	0	0	0	0	0	11	13	10
細菌性髄膜炎	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.03	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	2	1	0	0	15	10	12
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.07	0.00	0.00	0.03	0.02	0.02
クラミジア肺炎	3	6	7	4	2	1	4	4	178	175	137
突発性発しん	0.20	0.40	0.47	0.27	0.13	0.07	0.27	0.27	0.37	0.36	0.28
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	-
流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	-
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	3	2	2	0	52	74	74
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.13	0.13	0.00	0.11	0.15	0.15

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

( 全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週前までの内容になります。 )

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

感染性胃腸炎 : 菊池、御船、有明、宇城  
急性出血性結膜炎 : 有明

手足口病  
突発性発しん  
ヘルパンギーナ

2 全数把握対象疾患

疾患名	今週	R7累計
1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核 (患者:9名、無症状病原体保有者:4名)	13
3類感染症	報告なし	
4類感染症	デング熱	1
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
	梅毒	3
	百日咳	12

当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R7累計報告数は増減します。

3 病原体検査情報

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。  
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2024/25シーズン(R6.9/2~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1 pdm(AH1 pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	3件	0件	1件	0件

呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R6.12/30~)からの累計

ライノウイルス	R Sウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
2件 (11件)	0件 (0件)	0件 (6件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)
アデノウイルス	その他				
0件 (0件)	0件 (0件)				

( カッコ内は昨シーズン累計 )

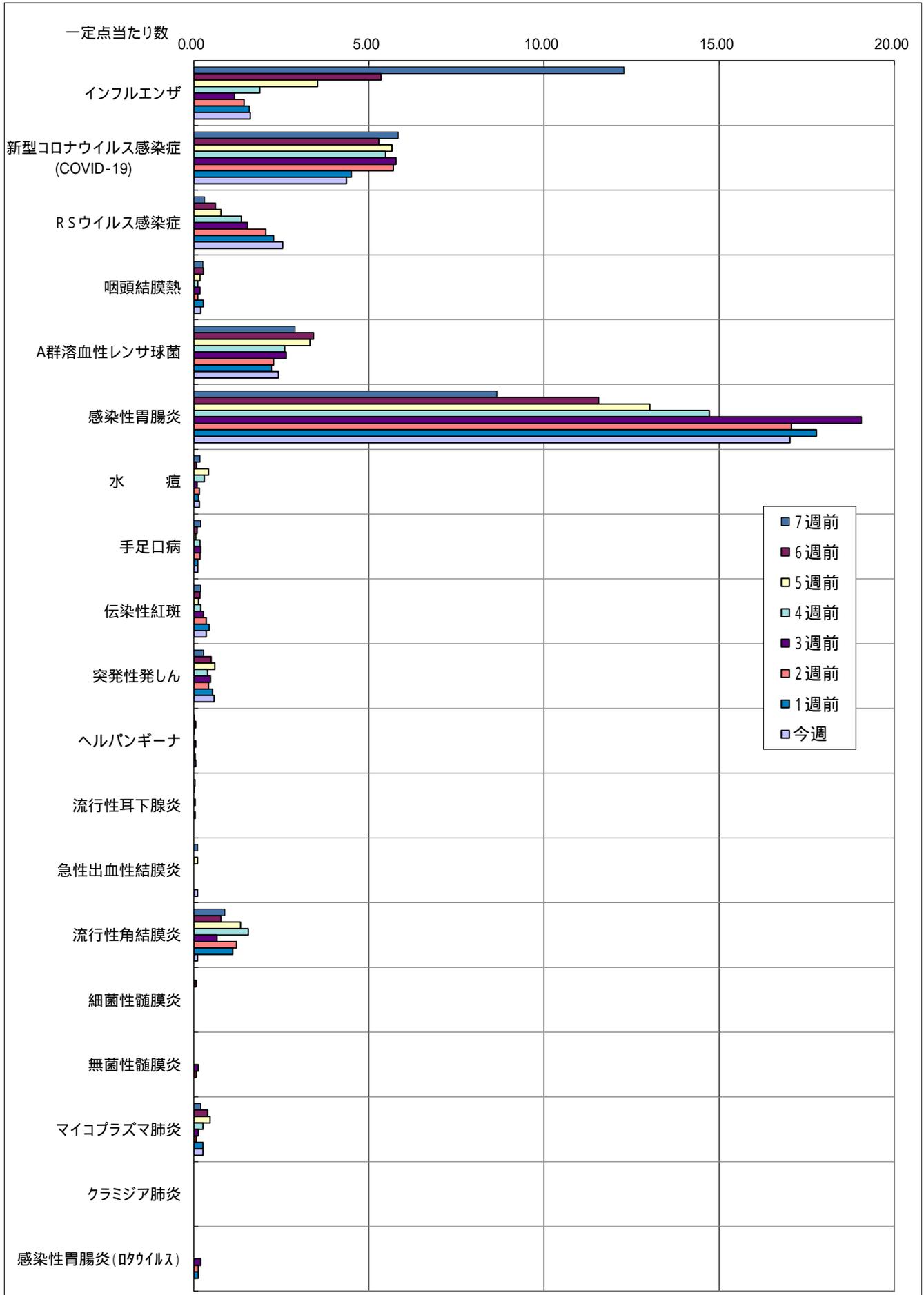
感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R6.12/30~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)

( カッコ内は昨シーズン累計 )

【週報に関するお問い合わせ先】  
健康危機管理課 感染症対策班 直通電話:096 - 333 - 2240 (内33154、33141)

一定点当たり週別発生状況の推移



保健所別発生状況 (インフルエンザ / COVID-19・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	31	107	32	3	29	199	3	4	9	14	0	0	0	0	0	0	4	0	0
2 山鹿保健所	18	13	11	0	3	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	18	17	30	1	18	237	2	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	9	23	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	6	18	5	0	2	54	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	4	11	15	2	13	58	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	0	9	3	0	8	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 人吉保健所	1	21	6	3	12	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	5	58	13	0	15	88	3	0	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	13	21	12	0	9	102	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	24	51	0	1	12	11	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0
計	129	349	127	10	121	851	8	6	18	29	3	0	1	1	0	0	4	0	0

保健所別 一定点当たり患者報告数 (インフルエンザ / COVID-19・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	1.24	4.28	2.00	0.19	1.81	12.44	0.19	0.25	0.56	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.80	0.00	0.00
2 山鹿保健所	6.00	4.33	5.50	0.00	1.50	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3 菊池保健所	2.25	2.13	6.00	0.20	3.60	47.40	0.40	0.00	1.40	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4 阿蘇保健所	3.00	7.67	0.00	0.00	0.00	5.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5 御船保健所	1.20	3.60	1.67	0.00	0.67	18.00	0.00	0.33	0.00	1.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6 八代保健所	0.57	1.57	3.75	0.50	3.25	14.50	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7 水俣保健所	0.00	3.00	1.50	0.00	4.00	8.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8 人吉保健所	0.20	4.20	2.00	1.00	4.00	13.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9 有明保健所	0.63	7.25	2.60	0.00	3.00	17.60	0.60	0.00	0.00	0.80	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10 宇城保健所	2.17	3.50	3.00	0.00	2.25	25.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11 天草保健所	3.43	7.29	0.00	0.25	3.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.75	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均	1.61	4.36	2.54	0.20	2.42	17.02	0.16	0.12	0.36	0.58	0.06	0.00	0.11	0.11	0.00	0.00	0.27	0.00	0.00

年齢別発生状況(インフルエンザ / COVID-19・小児科・眼科・基幹定点)

令和7年第11週

インフルエンザ / COVID-19 定点 年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	129	3	4	3	2	2	8	6	6	3	11	6	33	11	4	7	7	4	5	4	0
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	349	6	6	11	4	3	2	3	6	2	3	7	15	14	20	38	44	30	44	34	57

小児科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20歳 以上
RSウイルス感染症	127	19	30	39	23	8	6	2	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	10	0	0	7	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	121	0	1	9	5	7	14	20	13	14	10	7	18	1	2
感染性胃腸炎	851	3	21	92	92	71	85	88	96	50	36	42	86	13	76
水痘	8	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	0	0
手足口病	6	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	18	0	0	0	0	2	4	3	6	1	1	1	0	0	0
突発性発疹	29	0	6	18	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	3	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
流行性角結膜炎	9	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	4	0	0	1	0

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	4	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

熊本県感染症情報 (第11週:3/10~3/16)

【HPVワクチンの接種機会を逃した方へ】

子宮頸がん予防のためのHPVワクチンのキャッチアップ接種(無料)は、令和7年3月末までに接種を開始しましょう

- HPVワクチンは、接種後の副反応の影響により、平成25年~令和3年まで積極的な接種勧奨が差し控えられていました。この間、定期接種の対象年齢であった小学校6年生~高校1年生相当だった女性の中には、ワクチン接種の機会を逃した方がいらっしゃいます。
- 現在、国において安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められており、令和4年4月からは、積極的な接種勧奨が再開されています。
- これに伴い、ワクチンの接種機会を逃した方に、公平な接種機会を確保する観点から平成9年度~平成19年度生まれの女性を対象に「**キャッチアップ接種**」として、**改めて無料(公費)で接種できる機会が提供**されています。  
キャッチアップ接種は、令和7年3月で終了予定でしたが、今夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃいました。このような状況等を踏まえ、令和7年3月末までに接種を開始した方が全3回の接種を無料(公費)で完了できるようにする方針について、国の審議会で承認されました。  
**接種を希望する方は、令和7年3月末までに接種を開始**することを御検討ください。

【対象者】

- ・キャッチアップ接種対象者(平成9年度~平成19年度生まれの女性)のうち、令和4年4月1日~令和7年3月31日にHPVワクチンを1回以上接種した方
- ・平成20年度生まれの女子で、令和4年4月1日~令和7年3月31日にHPVワクチンを1回以上接種した方

【期間】

- ・キャッチアップ接種期間(令和7年3月31日まで)終了後1年間



有識者のアドバイス（令和6年9月20日時点）

子宮頸がんは、熊本県において女性のがん罹患率第4位(令和元年)、その数値は全国平均を上回っています。年齢別では、20歳代後半から増加をはじめ、30代までに全国で年間約1000人の女性が、治療で子宮を失っています。早期発見のために子宮がん検診を受けることも大切ですが、加えてHPVワクチンを接種することで、原因と言われているウイルスの体への侵入を防ぎ、子宮頸がんの発症を抑えることができます。

一時期、副反応などの問題で厚生労働省がワクチン接種の積極的勧奨を中止し、接種が控えられた時期がありました。その年代に該当する女性(平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれ)は、現在「キャッチアップ接種」として無料で接種を受けることができます。令和7年3月までが期限ですが、無料で全3回の接種を終えるためには、今年9月中に1回目の接種を受ける必要があります(※)。熊本県医師会でもこの点を重視し、8月9日に行った定例記者会見の中でHPVワクチンキャッチアップ接種についての広報をいたしました。現場感覚としては接種率は増えていないように感じます。

もちろん、接種は強制ではなく任意です。心配されるHPVワクチン接種後の副反応についても注意が必要です。でも、せっかくワクチンで予防できるがんであることがわかっています。将来、子宮頸がんによって失われかもしれない命や子宮を救うためにも、無料接種の期間を利用して受けていただければと思います。

公益社団法人熊本県医師会

担当理事 秋月美和 様



現在、2025年3月末までに1回以上接種した方は、4月以降も公費で接種可能です。

子宮頸がんは、日本では、毎年約10,000人の女性が新たにがんと診断され、年間約3,000人の女性がこの病気で命を落としています。がんになる原因は、その種類によってさまざまですが、子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるものです。子宮頸がんは、子宮の頸部(子宮の出口に近い部分)にできるがんで、若い世代の女性に多く発症するのが特徴です。20歳代から30歳代までの間にがんになる人も多く、たとえ命を落とさなくても、年間約1,000人の女性が治療のために子宮を失い、妊娠することができなくなってしまいます。

ところが、子宮頸がんの発症数は世界的には減少傾向にあります。それはHPVワクチンの接種や子宮がん検診の普及によるものです。これらの対策を積極的に取り入れる国が増えたことで、その地域では子宮頸がんの発生率が低下しています。実際、その中の一つであるイギリスでは、2023年11月、「2040年までに子宮頸がんを撲滅する」という目標が発表されました。それは、2008年以降よりHPVワクチンを接種しているグループでの子宮頸がん発症数が87%減少しているため、今後数年で患者数が減り始めると予想されているためです。現在、イギリス国内において、12～13歳の男女におけるHPVワクチンの接種率は、女子が86%、男子が81%となっています。

日本においても、2009年に承認されたHPVワクチンでしたが、接種者が訴えた体調不良をメディアがセンセーショナルに取り上げたことから、2013年に接種対象者への勧奨がストップしました。その結果、ワクチンの接種率は2014年度には約1%となっています。しかし、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められ、2022年4月から厚生労働省による接種勧奨が再スタートしました。

この再スタートと同時に、2013年から2021年の間、接種機会を逃した方々についても無料で接種できる、いわゆる「キャッチアップ接種」が始まりました。2022年4月1日から2025年3月31日まで無料でワクチンを接種することができます。ただし、接種回数が3回、接種間隔のスケジュール上、接種が完了するまでに約6か月間かかるため、接種を希望される方で、まだ一度も予防接種を受けていない方は、第1回目の接種を2024年9月末までに開始する必要があります。よろしく御検討ください(※)。

具体的な接種方法は、住民票のある市町村から送付されているお知らせを御覧いただき、紛失されている場合等は、住民票のある市町村にお尋ねください。また、過去に受けた接種回数や時期により、接種方法が異なる場合があります。まずは、母子健康手帳等を確認、不明な点は各市町村に相談の上、医療機関に連絡してください。

医療法人末永会

すえなが婦人科・  
産科クリニック

理事長 末永 義人 様



現在、2025年3月末までに1回以上接種した方は、4月以降も公費で接種可能です。

## インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等について(第11週:3/10~3/16)

令和7年(2025年)3月20日(木)  
熊本県 健康危機管理課

### 1 学級閉鎖について

No	所在地	施設名	措置種別	学年	措置した学級数 /学年の総組数	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	在籍数	患者数	欠席数	措置の期間			備考
												開始日	～	終了日	
1	熊本市	北部中学校	学年	2		0	1	0	250	44	43	3月14日	～	未定	
2	益城町	益城中学校	学級	1	1/10	0	0	1	36	10	10	3月14日	～	3月18日	1-7
3	益城町	益城中学校	学級	1	1/10	0	0	1	36	9	9	3月17日	～	3月18日	1-1
						0	1	2	322	63	62				

## 2 学校の休業等に係るインフルエンザ様疾患の発生状況（2024～2025シーズン）

期間	9月 (9/2～9/29)	10月 (9/30～10/3)	11月 (11/4～12/1)	12月 (12/2～12/29)	1月 (12/30～2/2)	2月 (2/3～3/2)	第10週 (3/3～3/9)	第11週 (3/10～3/16)	合計	
合計（人数）	0	124	98	2,621	779	197	41	63	3,923	
保健所別	熊本市	0	73	47	787	287	109	9	44	1,356
	有明	0	0	0	477	179	0	0	0	656
	山鹿	0	0	0	427	62	0	0	0	489
	菊池	0	0	23	283	74	38	0	0	418
	御船	0	27	12	16	11	0	13	19	98
	阿蘇	0	0	0	112	35	0	19	0	166
	宇城	0	0	0	69	0	37	0	0	106
	八代	0	0	16	229	60	0	0	0	305
	水俣	0	0	0	29	10	0	0	0	39
	人吉	0	0	0	46	28	13	0	0	87
	天草	0	15	0	146	33	0	0	0	194
昨年同期	2,217	1,544	5,478	5,432	3,550	4,386	689	496	23,792	

学校等からの届出があった日でカウントしています。

県内のインフルエンザの発生状況は、県のホームページに掲載しております（毎週更新）。

本書の情報はあくまで速報値です。

インフルエンザの予防方法は

- ・咳エチケットを守りましょう。
- ・できる限り人混みを避けましょう。
- ・こまめに石けんを使用して丁寧に手洗いをしましょう。
- ・十分な栄養、休養、睡眠を心がけましょう。



「せき」や「くしゃみ」で出るしぶきで、ウイルスが広がります。

- ・「せき」や「くしゃみ」が出るときは、マスクを着用しましょう。
- ・マスクをしていない場合は、「せき」や「くしゃみ」をする際は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、顔をそむけましょう。
- ・使用後のティッシュや使い捨てマスクは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。